

戸田市 施策評価シート

作成日	令和 2年 6月30日	作成者名	浜野 康彦	評価者名	吉野 博司
-----	-------------	------	-------	------	-------

1. 施策の位置づけ <PLAN>

基本目標	04 緑と潤いのあるまち	中心となる課	環境経済部・みどり公園課
分野	02 公園・水辺	関係課	
施策	40 魅力ある公園づくり		
施策の目的	市民にとって身近な憩いの場である公園について、地域の景観や特色を活かし、市民の誰もが安心して集うことのできる魅力ある公園をつくります。		

2. 施策の主な取り組み <DO>

取り組み①	公園施設整備・改修事業
取り組み②	
取り組み③	
取り組み④	
取り組み⑤	
その他の取り組み	
その他の取り組み	

3. 施策の指標における成果（主な指標）<CHECK>

指標名	指標の説明 (算定式)	単位	目標値	達成値					
				H27	H28	H29	H30	R1	R2
協働の実施数	ワークショップ等を経て整備された公園延べ数	回	2	0	1	4	5	5	
維持管理委託の件数	自治会等が行う維持管理の新規件数 (市民、町会を含む)	件	1	0	0	0	0	0	
工事实施件数	長寿命化計画の工事实施延べ件数 (バリアフリー化を含む)	件	6	1	4	4	7	13	
その他施策の取組事項に係る成果	公園への親しみ醸成と適切な公園利用の促進を図ることを目的に、芦原たんぼ公園のたんぼ体験に協力を行った。受動喫煙防止のマナー看板を市内公園に設置し、市民等に公園行政に対する理解を深めることができた。								

4. 施策の展開 <ACTION>

課題	公園を開設した当時と現在では地域特性や住民ニーズが変化していることから、現在のニーズを捉えたりリニューアルが必要である。 公園に対する親しみの感情を育みつつ適切な公園利用の促進を図るため、町会に公園清掃等を依頼している。一方で、町会によっては、高齢化による清掃参加者の減少や次世代への引き継ぎが滞り、担い手の不足が見受けられる。	対応策	令和2年度内に、多世代の方々が快適に利用できるよう、安全面に配慮したバリアフリー化、子供や高齢者が一緒に楽しめる施設の検討、遊具の適切な配置など、維持管理における考え方を整理する。 公園利用の促進に向け、町会主催のイベントに協力することにより、公園行政への理解者を増やしていく。 (例：芦原町会主催「たんぼ体験」、場所：芦原たんぼ公園)
----	---	-----	--

○結果と今後の方向性（シート作成次長記入）

進捗状況 (A 躍進中、B 予定通り、C 遅れ気味)	説明 (総評)	6公園において公園施設長寿命化計画に基づき公園施設（噴水ポンプ改修、ちびっ子プール塗装等）の改修や改良を行った。 ※喜沢第一公園、喜沢第二公園、後谷公園、新曽南1丁目児童遊園地、喜沢2丁目児童遊園地、圃中公園
B	説明 (人員/予算)	令和元年度に作成した公園リニューアルの基本方針（案）を踏まえ、公園リニューアル計画策定業務を予算化した。令和2年度は、基本方針（案）の実現が図られる推進計画を作成し、基本方針と推進計画から成る公園リニューアル計画を策定する。策定後は、公園施設の効率的な整備や維持と共に、市民等との協働による賑わいを創出する公園運営を目指す。
今後の方向性（人員/予算） (↑増加、→維持、↓削減)		
→		

(評価者コメント)

公園整備・改修にあたっては、市の方針・計画に基づきながら、地元懇談会・ワークショップ等を行い、市民との協働で進めることが望ましい。 公園整備後は、維持管理費が将来に渡り必要となることから、維持費の増加を抑制する創意工夫が必要である。また、各種補助金の確保にも努めて、新たに策定する公園リニューアル計画に取り組むべきと考える。
